

市名坂小

友達への感謝「木」に記す



これがイチオシ 毎年恒例の「杜フェス」

市名坂小学校には、「杜の風フェスティバル(杜フェス)」というお祭りがあります。主に4～6年生がお店の準備、運営、片付けまで協力して行います。意見を出し合い、演出などを工夫しながら個性あるお店作りをします。仮装もして雰囲気盛り上げます。校舎全部を使えるので、教室だけでなく特別教室やホールなど、自分たちの活動に合った場所に出店しています。

お店で遊ぶ人も、お店で仕事をしている人も楽しく盛り上がるので、全校のみんなが、毎年楽しみにしています。

学校名 仙台市立市名坂小学校
所在地 仙台市泉区市名坂高玉1
創立 2004年
電話 022(773)8901
校長 遠藤 浩志
児童数 460人

「えがお」達成への活動
市名坂小学校には「えがお」という児童会スロガンがあります。「笑顔で挨拶」「学校を綺麗に」「思いやりの市小」の頭文字をとりました。4月に代表委員会で話し合い、決めました。スロガンの達成を目指し、各クラスや委員会、学校全体でさまざまな活動に取り組んでいます。今回はその一つ「えがおとうの木」を紹介しよう。友達が「えがおとう」と思ったことを葉っぱの形をした紙に書き、木が描かれたポスターに貼って



「えがおとうの木」に書かれた言葉を見る子どもたち
編集委員 澤崎円花、田代菜奈、高橋快斗、畠山天志、村井宏成、門伝りお(6年) 指導教員 庄司拓真、佐藤和香奈

わが校わがまち スクール通信



今回は休みます。

地域に愛された学校 実感

西小野田小

閉校を前に思い出作り

西小野田小学校は、今年3月末に閉校します。昨年11月7日には、全校児童と地域の皆さんが集って、思い出作りのイベントを行いました。午前中は、やくらいガーデンで全校ウォークラリーをしました。ミツシオンをクリアしながら、チェックポイントを探して広い園内を歩き、縦割り班の友達と協力してゴールにたどり着きました。お昼は、お母さんたちが作ってくれた、美味しい豚汁とおにぎりをみんなで食べ、幸せな気持ちになりました。



①薬菜山のふもとで全校ウォークラリー②お昼はあったかい豚汁とおにぎり③みんなで廃車アートの4校庭での打ち上げ花火は迫力満点
編集委員 相澤蘭丸、天野夢柳、一條歌音、小山晴加、常陸愛、吉川向日葵、本間心望(6年) 指導教員 松本千栄

これがイチオシ 高学年 伝統の神楽継ぐ

三輪流神楽は、加美町小野田地区の薬菜神社に古くから伝わる伝統芸能です。西小野田小学校では、12の神楽のうち「除魔」という演目を5・6年生で受け継いできました。総合的な学習の時間に神社や神楽の歴史を学び、地元の方に神楽を教してもらいました。山の神は面を着け、獅子は頭と尾の2人が1頭になって舞います。太鼓と笛の音が良い音が出るまで練習しました。神楽は、学習発表会や郡音楽祭、初穂祭などで披露し、地元の皆さんに喜んでもらっています。

学校名 加美町立西小野田小学校
所在地 加美町上野目高畑5
創立 1873年
電話 0229(67)2121
校長 笠原 英康
児童数 40人

大衡村の小学生が議員の役割を体験する「こども議会」が、村議会議場で初めて実施された。大衡小(児童360人)の6年生約60人が参加し、小川ひろみ村長と意見を交わした。児童の一人は「村内にスーパーや大型商業施設があったらいい。誘致できないか」と要望。小川村長は「大きなショッピングモールは難しいが、まずはドラッグストアに立地してもらえよう頑張る」と答弁した。

別の児童は「自転車だけでは移動が大変。バスを増やす予定はないか」と質問した。小川村長は、村民の自宅と村内並びに大和町内の施設を結ぶデマンド型交通「のらいん」の存在に触れ、「富谷や仙台まで行ける

商業施設を誘致 バスの本数増加 「あったらいいな」続々



議員席から小川村長に質問する児童(右端)

が、のらいんを利用して目的地に向かってほしい」と答えた。他には「道路がたがたで困ったことがある」「運動のできる大きな施設や公園を整備してほしい」「人を呼ぶために観光施設や記念館を建て、新たなお土産を開発するべきだ」といった意見が出た。

質疑の終了後、児童を代表して早坂夢望さん(12)が「貴重な経験ができてうれしい。村のことを知る良い機会になった」と感想を話した。小川村長は「皆さんが大きくなって村に戻ったら、今回の要望がかなっているようにしたい」と語った。この会議は2月10日(日)にあった。(2月18日朝刊より)

大衡小6年生、議会体験で要望



2026年度は6月の幸町小、住吉台小から活動が始まります。

河北新報の仕事 がんばった 仙台市スチューデントシティ支局員紹介

「スチューデントシティ」は仙台市青葉区のアエルの「仙台子ども体験プラザ」にあります。仙台市の教育施設で、市内の小学5、6年生が仕事と社会の仕組みを学べる「小さな街」です。2025年度の活動は昨年6月の東長町小からスタートし、2月18日の八乙女小で終了しました。この間、120校の児童8247人が住民登録しました。街には市役所をはじめ、10ブ

児童たちは各ブラスで、商品の販売のほか、納税、各種サービスの窓口業務の仕事をして給料をもらい、買い物をしたり、税金を納めたりします。

同プラザは、仙台市が、震災被災地の復興を支援するカタール政府の基金や協賛企業の協力を得て2014年に開設されました。11月6日には住民登録が8万人を達成しました。本年度の終了時点で、8万4046人になりました。